

2023  
令和5  
秋号

No.220 9月議会特集

3月 6月 9月 12月



じょうえつ市議会だより



# 特集 市民に身近な議会を目指して

— 議会改革を進めています —

上越市議会では、市民の皆さんにより身近で信頼される存在となり、また、開かれた議会となるため議会改革に取り組んでいます。その取り組みの一部を紹介します。

議会改革の取り組みについてはこちら



## 議場コンサートを初開催



コンサートの様子は  
こちらから  
ご覧いただけます



9月定例会の初日（9月4日）の本会議開会前に、議場コンサートを開催しました。多くの市民の皆さんから、議場を身近に感じ、足を運んでいただくきっかけとするための初めての試みです。当日は、午前9時20分から30分間、ジェイオー・グレース ゴスペル クワイア J.O. GRACE GOSPEL CHOIRのメンバーによる力強く美しい歌声が議場に響き渡り、傍聴席で約60の方が観覧しました。

## 通年会期制の導入を答申

議長から通年議会導入に関する諮問を受け、議会運営委員会で検討を行ってきました。9月27日には議長へ検討結果の答申を行いました。

### ▼ 答申の概要

- 令和6年4月の市議会議員一般選挙後、適切な時期に通年会期制を導入すべきである。
- 導入に当たっては、（仮称）通年会期制導入準備委員会を組織し、具体的な制度設計や理事者側との調整、市民説明会等を実施する必要がある。

### ▼ 通年会期制とは

● 議会の会期を、通年（約1年間）とすることで。現行の制度では、定例会や臨時会ごとに市長が議会を招集し、議会で会期が決定されます。会期（今定例会であれば9月4日から24日間）を過ぎると次の議会が招集されるまで活動が制限されます。

### ▼ 導入のメリットは

- 常に議会が活動できる状態となるため、議会活動が活性化するとともに、行政への監視機能が強化されます。
- 緊急的な案件が発生した場合、即座に議会を開いて迅速に対応することが可能になります。

## 議員定数の検討

8月23日に、上越市議会議員定数検討会議を設置しました。

- 現在の議員定数は、平成24年4月から32人となっています。
- 市の人口の減少が進む中、市議会の定数がどうあるべきか検討していきます。



議員定数の変遷についてはこちら



議員定数検討会議についてはこちら



05 point

### IT企業等の誘致

サテライトオフィス

# 3社が進出



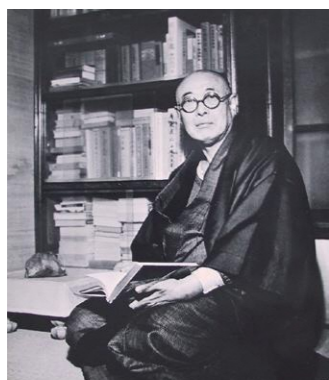
- 誘致支援業務の民間委託や、市出身者等へのPRを実施して企業誘致を促進

06 point

### 文化の振興

小川未明生誕 140 周年記念展－弱者のために－

# 入館者数 4,345 人



- 小川未明の業績や人となり、作品を広く紹介するため、市民団体等と連携して、フォーラムやシンポジウム等の記念事業を実施

次のページで  
これら決算等に関する  
注目の質疑をご紹介します！



02 point

### 移住定住促進

市の制度を活用した移住者数

# 188 世帯 361 人



- 移住検討者向けのセミナー開催や移住定住応援家賃補助金等により、移住者数が前年度に比べて 158 世帯増

03 point

### 出産・子育て応援



# 支給総額 約 1 億 2 千万円

- 出産応援ギフト (7,640 万円)  
面談による相談支援を受けた妊婦 1 人につき 5 万円を支給
- 子育て応援ギフト (4,390 万円)  
新生児を養育し、面談による相談支援を受けた人を対象に、新生児 1 人につき 5 万円を支給

04 point

### 高齢者安全運転支援装置設置補助



# 交付件数 577 件

(交付総額 約 1,119 万円)

- 安全運転支援機能付きドライブレコーダーや急発進抑制装置の購入費を補助

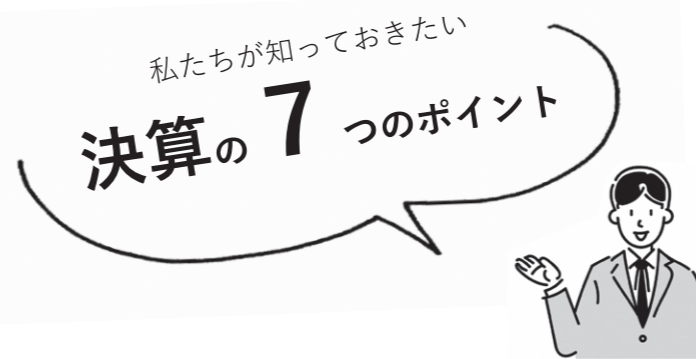
07 point

### 新型コロナウイルス感染症、物価高騰への対応

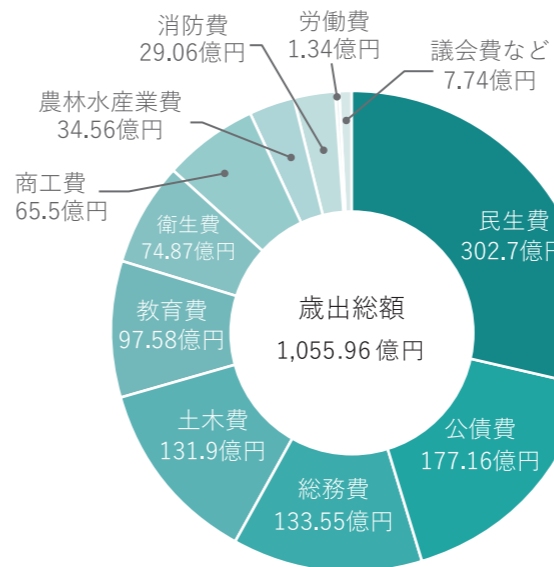
- 感染症対策 (約 31.8 億円)  
ワクチン接種、中小企業者等への支援金支給、プレミアム付商品券発行支援など
- 物価高騰対策 (約 32.4 億円)  
子育て世帯等への給付金や中小企業者・農業者への支援金支給など



# 総事業費 約 64 億円



## 令和 4 年度一般会計決算 歳出



※ 民生費とは  
福祉などの支出  
※ 公債費とは  
市の借金を返済するための支出

⇒ 市民 1 人当たり歳出額約 54.9 万円  
(令和 3 年度と比べて 1.2% 減)

注目すべき 7 つのポイントをご紹介します。

01 point

### えちご・くびき野 100 km マラソン

# 出走者数 1,655 人

 (申込者数 1,863 人)

- 6 年ぶりに開催し、全国各地からランナーが参加

令和 4 年度の決算を審査する

# 9 月定例会

通称“決算議会”

3・6・9・12月に開催される定例会のうち、9月定例会の内容をお届けします。

9月定例会は、主に前年度の決算を審査する、“決算議会”と称されており、事業の成果や今後の課題などについて審査しました。

## 9 月定例会の流れ

- 1 本会議 市長による議案の提案説明 9/4 ㊟
- 2 本会議 総括質疑 9/4 ㊟～5 ㊟  
議員が提案された議案に対し質疑を行う
- 3 委員会 常任委員会 9/6 ㊟～15 ㊟  
総務・厚生・農政建設・文教経済の各常任委員会に分かれて審査
- 4 本会議 一般質問 9/20 ㊟～25 ㊟  
議員が市政全般に渡って質問し、市の見解を聞く (関連記事 10 ページ)
- 5 本会議 市長による議案の追加提案説明 9/25 ㊟  
今夏の渇水による農地の干ばつ被害に対する支援策を追加提案
- 6 本会議 追加提案の総括質疑 9/25 ㊟  
議員が追加提案された議案に対し質疑を行う
- 7 委員会 常任委員会 9/27 ㊟  
追加提案について総務・農政建設の各常任委員会にて審査
- 8 本会議 委員長報告 9/27 ㊟  
各常任委員会の審査結果を全員で共有
- 9 本会議 討論 9/27 ㊟  
議案等に対して賛成か反対かを表明し、意見をたたかわす (関連記事 8 ページ)
- 10 本会議 採決 9/27 ㊟  
議案等の可否を決める (関連記事 9 ページ)

市の Q & A  
議員の Q & A  
総括・委員会質疑  
身近な話題を Pick up!



相談支援事業

● 地域における身近な相談窓口である市内11か所の地域包括支援センターでは、障害のある人やひきこもりの人などへの相談支援を行っています。

Q 相談員は足りているのか。

A 人数はおおむね足りている。

● 議員／地域包括支援センターが行った相談件数が増えているが、相談員は足りているのか。

● すこやかなくらし包括支援センター／実態調査を行ったところ、相談員はおおむね足りていることが確認できた。困難ケースが増えてきているが、すこやかなくらし包括支援センターも相談に乗るなど、関係機関と連携しながら対応している。

病児・病後児保育室運営費

● 子育ての負担感を緩和し、安心して子育てができるよう、病気の児童を一時的に預けることができる施設として、病児保育室が直江津地区に1か所あります。



わたぼうし病児保育室  
(栄町2丁目地内)

Q 高田地区にも開設できないか。

A 検討をしているが、困難な状況である。

● 幼児保育課／開業医等に病児保育室の設置に向けた働きかけを進めているが、困難な状況である。また、上越地域医療センター病院内の設置については、地域医療構想調整会議でセンター病院の在り方を検討する際に議論を進めていく。

地域独自の予算

● 平成22年度から実施していた地域活動支援事業を廃止し、令和5年度から地域の課題を解決し、活力の向上を図るために、「地域独自の予算」制度を導入しています。地域住民の皆さんや地域協議会からの提案を、各総合事務所などが予算要求する仕組みです。

Q 地域活動支援事業の総括が生かされていないのでは。

A 市または地域の団体等が行う2つの仕組みを設けた。

● 議員／地域活動支援事業で、補助金として執行してきたことを課題としていながら、補助金という形態を残している。総括が生かされていないのでは。

● 副市長／提案制度を設けて、市がやるべきものと、地域の団体等が主体となっていくもの2つの仕組みを設けた。今後もよりよい制度となるよう検討を続けていく。



放課後児童クラブ運営費

Q 日曜日、祝日開設の検討は。

A ニーズ調査を含めて令和6年度から検証する。

● 議員／家族構成や働き方が多様化する中、日曜日や祝日の開設の必要性を検討する必要があるとのことだが、どのように進めていくのか。

● 学校教育課／令和6年度からニーズ調査を含めて、必要性を検証したい。令和4年度に行った保護者アンケートでは、開設時間の延長を望む意見があったことから、開設時間についても検討していきたい。



リフレ上越山里振興株式会社運営費

● リフレ上越山里振興株式会社の解散・清算に当たり、同社の事業運営に係る債務整理及び清算事務に係る費用を支援するための経費6,000万円が提案されました。

生活排水対策事業

● 平成27年度から、事業費の削減を図るため、公共下水道整備区域の見直しを行い、一部地域を合併処理浄化槽整備区域とする方針転換を行っています。

Q 合併処理浄化槽整備区域に転換した地域に再度説明する考えは。

A 地元の方から要望があれば対応する。

● 議員／合併処理浄化槽への転換について、了解をしていない町内がある。いまだ地元に入り、丁寧な説明をしてはどうか。

● 都市整備部長／これまで地元には計4回の説明を行っている。現段階で、大きな状況の変化はないため、改めて説明する考えはないが、地元から要望があれば丁寧に対応する。



Q 6,000万円の内訳は。

A 会社設立以来の事業負債と清算の諸費用に充てる。

● 市長／会社設立以来の運営で積み重なった事業負債約5,600万円と、清算に要する諸費用約400万円を清算補助金として支援する。多額の市税を用いなければならず申し訳なく思っている。

Q 損失補償契約外の借入金、清算対象に含まれる理由は。

A 事業負債として市の補助金で清算する。

● 資産活用課／市と損失補償契約を結んでいない上越信用金庫や日本政策金融公庫などからの借入れについては、コロナ禍による資金繰り悪化の中、会社が独自に借りたものであり、一部役員が連帯保証となっている。役員に対して過度の責任を求めないという判断の下、市が債権放棄をすると、役員が債務を負う可能性があるため、事業負債として市の補助金で清算することにした。

市道除雪作業報償金制度

● 除雪路線に指定していない市道において、共助による除雪作業を行う町内会などに、報償金を支払う経費が提案されました。



Q 除雪作業の実施回数の上限はあるのか。

A 各地区の除雪事業者が出動した回数を上限とする。

● 雪対策室／市内を25地区に分けて、その地区に除雪事業者が出動した回数を上限とする。

Q 報償金の支払い方法は。

A 実績報告を基に支払う。

● 雪対策室／町内会からの実績報告を基に、期間終了後に一括して支払う。

第三セクター経営改善事業

Q 雇用関係助成金の不正受給が起きた原因は。

A 不正を起こさない仕組みづくり等が不十分。

● 資産活用課／第三セクターの組織の中で、しっかりとした押印管理や業務遂行に当たったダブルチェックが不十分であったと認識している。また、コンプライアンスを意図して、業務に当たるといことが、不足していた。

Q 不正行為防止に向けた今後の取り組みは。

A コンプライアンス研修を実施し内部統制の仕組みを検討する。

● 資産活用課／令和5年7月に第三セクター向けのコンプライアンス研修を実施し、組織・従業員にとってコンプライアンス遵守の徹底が重要であると改めて認識した。また、第三セクターの所管課として内部統制の仕組みについて検討していく。



# 審議結果

◎：全員賛成で可決 ○：賛成多数で可決

議案等名	議決結果	議案等名	議決結果
議案第65号 令和4年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について	○	議案第81号 上越市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	◎
議案第66号 令和4年度上越市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	議案第82号 上越市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	◎
議案第67号 令和4年度上越市診療所特別会計歳入歳出決算認定について	◎	議案第83号 上越市ガス供給条例の一部改正について	◎
議案第68号 令和4年度上越市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	議案第84号 上越学生寮奨学金貸付条例の一部改正について	◎
議案第69号 令和4年度上越市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	議案第85号 上越観光物産センター条例の廃止について	◎
議案第70号 令和4年度上越市病院事業会計決算認定について	◎	議案第86号 字の変更について	◎
議案第71号 令和4年度上越市下水道事業会計決算認定について	◎	議案第87号 市道路線の廃止について	◎
議案第72号 令和4年度上越市ガス事業会計決算認定及び利益の処分について	◎	議案第88号 市道路線の認定について	◎
議案第73号 令和4年度上越市水道事業会計決算認定及び利益の処分について	◎	議案第89号 工事請負契約の締結について	◎
議案第74号 令和4年度上越市工業用水道事業会計決算認定について	◎	議案第90号 工事請負変更契約の締結について	◎
議案第75号 令和5年度上越市一般会計補正予算（第3号）	◎	議案第91号 損害賠償の額の決定及び和解について（市立小学校地内 人身事故）	◎
議案第76号 令和5年度上越市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	◎	議案第92号 損害賠償の額の決定及び和解について（高田図書館駐車場内 物損事故）	◎
議案第77号 令和5年度上越市介護保険特別会計補正予算（第1号）	◎	議案第93号 令和5年度上越市一般会計補正予算（第4号）	◎
議案第78号 令和5年度上越市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	◎	報告第5号 専決処分した事件の承認について（令和5年度上越市一般会計補正予算（専第2号））	◎
議案第79号 令和5年度上越市工業用水道事業清算特別会計補正予算（第1号）	◎	発議案第3号 私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書の提出について	◎
議案第80号 上越市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について	◎	発議案第4号 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書の提出について	◎


## 賛否が分かれた議案、私はこう判断！

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：議長（石田裕一）は採決に加わらない

議案	久比岐野				政新クラブ				みらい				創風		日本共産党議員団	公明党	無所属	議決結果 (賛成：反対)																
	木南和也	安田佳世	スラットン恵美子	橋本洋一	大島洋一	渡邊義隆	飯塚義隆	江口修一	鈴木めぐみ	丸山章	小林和孝	滝沢一成	栗田英明	こんどう彰治	高橋浩輔	高山ゆう子	中土井かおる		宮川大樹	本山人	波多野一夫	小山ようこ	宮崎朋子	池田尚江	武藤正信	平良木哲也	上野公悦	橋爪法一	山田忠晴	杉田勝典	宮越馨	石田裕一		
議案第65号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (27: 2)	
議案第66号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (27: 2)
議案第68号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (27: 2)
議案第69号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (27: 2)




討論とは、提案された議案等に対して、議員が賛成か反対かを表明するものです。討論の内容も踏まえて、採決に進みます。会派を代表して、5人の議員が討論を行いました。



橋爪議員  
日本共産党議員団

補聴器購入費助成や保育料軽減の対象拡充などは、市民の暮らしを守る視点から評価する。しかし、コロナ禍における支援策は時宜を得た素早い対応であったとは言えず、市職員の非正規職員比率が依然として高いことや、学校給食の民間委託の拡大など、是正すべき市政運営が継続されていて問題だ。特別会計では、依然として低所得者ほど過酷な負担になっていることから、4議案に反対する。


反対



橋本議員  
久比岐野

渇水・干ばつ被害へのスピード感ある応急対策の実施や、市道除雪作業報償金制度の創設、屋根雪下ろし命綱固定アンカー等設置に係る補助金上限額引き上げなど、市民ニーズに応える目配りの効いた施策を評価し、全議案に賛成する。今定例会で指摘された地域自治の推進や観光振興、地域医療の在り方などの課題に対して、方向性やスケジュールを具体的に示し、市民理解を得るよう努めてもらいたい。


賛成



小林議員  
政新クラブ

安心して子育てができる環境や外国人市民が安心して暮らせる環境、創業しやすい環境づくりなどを進めたことは評価する。また、市の魅力ある産品をふるさと納税の返礼品として活用し、販路拡大、魅力発信に繋がったほか、物価高騰対策として7回の補正予算を編成して生活者や事業者などへ支援を行い、負担軽減に大いに効果があったものと評価し、全議案に賛成する。今なお、物価高騰の影響は続いていることから、臨機応変で適切な対応を期待する。


賛成



杉田議員  
公明党

コロナ禍や物価高騰に対応するため実施した生活者や事業者への切れ目のない支援や、若者のU・I・Jターンの推進や移住・定住の促進、産前・産後の伴走型支援など仕事と育児の両立支援、行政のデジタル化への取り組みならびに、観光や特産品販売における取り組みや脱炭素社会に向けた取り組み、リフレ上越山里振興株式会社の特例清算に対する財政支援などを行った。これら“中川カラー”を随所に盛り込んだ事業実施を高く評価し、全議案に賛成する。

賛成



武藤議員  
創風

令和4年度決算では、財政健全化判断比率が警戒ラインとなる早期健全化基準を下回った。また、いじめや不登校問題に対して、学校訪問カウンセラーなどの取り組みにより早期解決に努めたことや、物価高騰に伴い生活困窮世帯や子育て世帯に対し市独自で支援を行ったこと、異常降雪時の通行止めに伴う大規模な車両滞留の発生に備え、車両待機のため公共施設の駐車場を確保したことなどを評価し、全議案に賛成する。

賛成



# 172 一般質問の視点

一般質問とは、議員が市の行政全般にわたって、市長や教育長等に方針・見解・事実の説明・報告などを求めるものです。今定例会では、28人が登壇し、172の質問で論戦を繰り広げました。その中から一部抜粋して掲載します。

二次元コードを読み取ると、その議員の一般質問の動画を視聴できます。



**記録的な異常高温と少雨による渇水対策は**



**戦国最強の山城「春日山城」の復元！**



**問**／令和5年の夏は、梅雨明けから記録的な異常高温と少雨による渇水・干ばつが続いたが、農業被害、市民生活への影響、市の対応はどうか。  
**答**／上越市では、異常高温と渇水により、水稲、園芸作物、畜産のそれぞれで被害が発生した。このうち水稲は、約70ヘクタールの水田で稲の枯死などの被害が発生しているのをはじめ、未熟粒や生育不良が見られるなど、収量や品質にも影響が及んでいる。このような状況の中、市では農業被害の軽減を図る緊急対策として、消雪用井戸からの給水や浄水場井戸水の放流などを実施するとともに、かん水用ポンプの購入費や燃料代などの一部を補助する対策を講じてきた。また、乾燥により深い亀裂が入った水田については、来年の耕作に影響が出ないよう、速やかな復旧支援に繋げていくため、関係機関の協力を得ながら現地調査を進めている。なお、市民生活に直接影響する水道水の供給については、ダム貯水が給水に影響のない量を確保しており、安定した供給が行われている。



水田の被害状況

**問**／文化財や歴史的資料を3DやVR画像にして、インターネット上で閲覧出来る「じょうえつデジタルミュージアム」を開設してはどうか。  
**答**／デジタルミュージアムは、公共への資料価値の共有が期待され、資料のデジタル化等を進めていく中でその趣旨の実現を図りたい。



**「デジタルミュージアム」の実現に向けて！**



**外国人市民が暮らしやすい地域へ！**  
**問**／市長は外国人が多く住む群馬県太田市や伊勢崎市を視察したが、どう施策へ生かすのか。  
**答**／庁舎内のふりがなによる案内表示や、外国人相談窓口の設置、日本語指導に従事する職員の任用など、様々な事例を参考にして、外国人に寄り添った取り組みを進めたい。

**レガシー形成事業と通年観光計画の連携を！**  
**問**／観光庁のレガシー形成事業や地元団体と連携して通年観光を盛り上げてはどうか。  
**答**／国との意見交換の場で、地元の声や通年観光計画の検討内容を伝えて連携を図りたい。

**建設業「2024年問題」へ働き方改革を！**  
**問**／長時間労働や人手不足の課題解決に向けて、働き方改革や適正な工期設定などを目指しては。  
**答**／業界団体や個々の企業への対策が不可欠であるため、関係機関と連携して取り組みたい。

**市の米政策への取り組み**  
**問**／令和5年度の米の仮渡金を踏まえて、市の米政策にどのように取り組んでいくか。  
**答**／国に対して需給調整や資材価格の安定対策を求めるほか、関係機関等と連携して当市に適した米生産や販売の方向性などを検討する。

**問**／部活動の地域移行が進められる中、令和4年12月に国が示したガイドラインを踏まえ、令和5年4月に「上越市部活動指導ガイドライン」が改定された。具体的にどのような取り組みをするのか。  
**答**／令和5年4月に、子どもたちが求める活動とのマッチングを図る機会を提供するため、33のスポーツ団体と4つの文化団体が参加した「地域クラブフェア」を開催し、11月には2回目の開催を予定している。また、同じく11月18日に開催する「上越市教育コラボ学び愛フェスタ」では、市内の生涯学習団体の活動紹介や体験ブース等の出展により、子どもたちが幅広い文化芸術活動に触れる機会を設け、自分のやりたい活動を見つけてきつかけづくりとなることを期待している。



**医療再編を地域医療充実のチャンスに！**



**問**／新潟労災病院の機能低下の根本的な課題は。  
**答**／労災病院や県などと連携しつつ最大限努めてきたが、医師の確保が進まず診療体制の縮小を余儀なくされたことである。  
**問**／仮に新潟労災病院の閉院は避けられないとしても、その地域に何らかの形で「医療を残す」ことは大切である。新潟労災病院の施設を、上越地域医療センター病院の「分院」として利活用できないか。分院単体での運営が難しいければ、例えば開業する医師が建物の一部を使用するなど、分院を核として複数の事業主が共同で利活用することはできないか。また、新たな感染症の出現に備えて設備を整えておき、有事の際には医師が集合して対応する県立の感染症棟や、介護と医療を一体的に提供する「介護医療院」としての活用もできるのではないか。  
**答**／提案された事項も含めて、今後の医療構想調整会議の中で検討していきたい。  
**問**／医療再編は、上越地域の医療の質をさらに向上させる大きなチャンスである。市として今後どのような医療提供体制を目指すのか。  
**答**／「地域の柱となる病院」を中心に、必要とされる医療が地域全体で一体的に提供される体制が具現化され、上越地域において医療を完結できる状態を目指していく。



謙信公大通りから春日山城を臨む



「失言」の数々、真意・分析は？  
 こんどう 彰治(政新クラブ)



問／令和5年7月に市内私立高校2校に関し市長が発言された内容は失言であった。失言の特徴や心理は理解しているのか。特徴は、思いつき他人を見下す、空気が読めない。心理は、正直に答えただけ、教えてあげただけ、悪気はない。失言の真意や分析はどうか。  
 答／弁解の余地がなく、心から反省している。  
 問／今後の失言に対しての責任の取り方は。  
 答／誠心誠意職務に精進する。

**儀明川ダムや山麓線四車線化の見通しは**

問／県が起債許可団体に移行した。県事業である儀明川ダムや山麓線四車線化の今後の見通しについて確認したい。  
 答／鶴川ダムに引き続き、儀明川ダムも本体工事着手に向け進めていると聞いている。山麓線四車線化は、交通量や交通渋滞の発生状況を確認しながら、事業化に向け検討していくとのことである。

**上越妙高駅開業10周年記念イベントは**

問／将来に繋がる地域の発展や、活性化に期したイベントにすべきではないか。  
 答／コロナ収束後の企業進出の活性化やオフィス設置の動向を注視し、来訪者や市民ニーズを捉えながら、さらなる利用を促す機会とするための取り組みをしたい。



さらに利用しやすい子育て支援の仕組みを！  
 中土井 かおる(みらい)



問／必要な時に遠慮せずに利用したいサービスが選択できるよう、先駆的な取り組みを参考に、子育てチケット制の導入を検討してはどうか。  
 答／一つの手段として有効かどうか十分に研究し、採用について検討していく。

**男性の育休制度の利用促進を！**

問／子育てしやすい環境づくりのためには男性の育休取得促進が必要である。市の男性職員の育休制度の利用状況と取得率向上の取り組みは。  
 答／令和2年度が13・6％、令和3年度が28・6％、令和4年度は75％であった。取得率向上のために育休取得経験のある男性職員を助言者とした相談窓口の設置や、育休取得後の業務調整や代替え人員の配置等を行った。

**障害のある人の社会参加促進へ向けて**

問／現在、障害のある人の社会参加を促進する事業としてタクシー利用券や自動車燃料費助成などがあるが、障害のある人の中には就労のためにバスを利用している人も多いと聞く。就労継続のために経済的支援としてバス利用券の導入を検討できないか。  
 答／制度を利用していらっしゃる方々や心身障害者福祉団体の声を聞き、ニーズの有無を確認した上で判断し、賃金向上の取り組みにも力を入れる。



高騰する冬の光熱費を支援していきましょう！  
 宮川 大樹(みらい)



問／エネルギー価格高騰支援金の申請受付が開されたが、反響はどうか。  
 答／エネルギー価格高騰の影響を受ける事業者支援として、効果的な取り組みとなっている。  
 問／冬のエネルギー価格高騰支援対策は。  
 答／国や県の動向を注視し、事業活動への影響を把握しながら、臨機な対応を検討していく。  
 問／平成28年より電力の小売が全面自由化となったが、当市並びに指定管理施設での電気事業者の選定基準はどうか。  
 答／総合的に勘案した上で、その都度、判断してきたが、従前よりも高い価格で電力調達せざるを得ない事案が発生しているため、当面既存の契約先による電力調達が適当と判断した。

**友好都市等との相互交流再開を**

問／新型コロナウイルス感染症の収束を機に、姉妹・友好都市等との相互交流を再開すべきではないか。  
 答／市民同士の交流を含め、様々な手法を通じて、相互の交流を積み重ねていく。  
 問／名立区不動態域で小水力発電の導入に向けて市民団体が設立された。市としても支援すべきと考えるがどうか。  
 答／関係する地域団体や事業者と情報共有し、事業化に向けて後押しする施策を研究していく。

**水道スマートメーターの活用**

問／水道使用量を自動で測る「水道スマートメーター」は、事業効率化に有効と考えるが、当市の取組状況は。  
 答／令和3年度から10地点にスマートメーターを設置しており、水道管の凍結被害を受けた地域にも設置するなど、実証試験を継続していく。



水道スマートメーターの活用  
 山田 忠晴(公明党)



問／水道使用量を自動で測る「水道スマートメーター」は、事業効率化に有効と考えるが、当市の取組状況は。  
 答／令和3年度から10地点にスマートメーターを設置しており、水道管の凍結被害を受けた地域にも設置するなど、実証試験を継続していく。

**離婚した家庭の養育費確保に向けた制度導入**

問／ひとり親世帯への養育費不払いを防ぐため、様々な支援体制を導入する考えは。  
 答／県が実施した支援事業の内容や実績を踏まえ、支援の在り方や制度設計の検討を進める。

**難聴者の会話サポート**

問／市役所木田庁舎や各総合事務所の窓口等に難聴者と円滑に意思の疎通が図れるよう、「軟骨伝導イヤホン」を導入する考えはないか。  
 答／難聴者の方々に対してスムーズな窓口対応が可能になると想定されるため、本格的な導入、設置について検討する。

**認知症介護の負担軽減**

問／認知症介護の負担軽減のため、居場所が確認できるGPS端末を貸与する制度の導入は。  
 答／いち早く発見できるメリットがあることから、ニーズや効果、課題について研究していく。



長野県との交流拡大に向けて  
 池田 尚江(創風)



問／直江津港の活用や、観光などの分野での交流人口の増加に向け、県都である長野市に上越事務所を設置する考えはないか。  
 答／両県は古くから人や物が行き交う中で、連綿と多様な交流や繋がりがあり、極めて深い関係にあると捉えている。上越事務所との設置については、SNSを通じた情報収集が主流であることなどを勘案する中で、設置の必要性は感じていないが、引き続き、長野県との交流拡大に向けた有効な手法について研究を進めていきたい。

**大規模火災発生時の情報伝達は**

問／アメリカ・ハワイ州 Maui 島で大規模火災が発生した。猛暑と少雨が続く中、当市においても大規模火災の発生が懸念されるが、市民への情報伝達はどのように行われるか。  
 答／令和5年8月には市内で4件の芝火災と2件の林野火災が発生し、強風が重なれば大規模な火災の危険性があったものと認識している。延焼拡大の恐れがある場合、対象地域へは防災行政無線をはじめ様々な情報伝達手段を用いて、速やかに市から避難指示を発令する。引き続き、市民の避難行動と防火意識の向上を図っていく。



ヤングケアラーに早期・必要な支援を！  
 高山 ゆう子(みらい)



問／当市のヤングケアラーの実態と支援は。  
 答／令和4年度に県で実施した調査結果では、小学4年生から中学3年生までの当市の児童生徒で、6校14世帯18人がヤングケアラーの疑いがあった。うち11世帯15人は既に適切な支援を受けており、残り3世帯3人に対しては、家庭環境に合わせた相談支援を開始した。今後も早期に発見し必要な支援に繋ぐことで、子どもが健やかに成長できるよう適切に対応したい。

**車椅子の貸出し・市民サービスの向上を**

問／市では旅行や通院、散歩など、短期間に車椅子が必要な場合、10日以内で貸し出すサービスを実施している。現在、市役所福祉課と各総合事務所で貸出しをしているが、南・北出張所や各地域自治区の公民館等、より身近な場所で貸出しできないか。  
 答／令和4年度の利用者数は79人で、多くの方から当該車椅子等の貸出しサービスに感謝の声が届いている。今後は利用者の希望に応じて、南・北出張所でも対応していく。他の場所については状況を見て検討したい。





**新婚さんを応援！  
結婚活動支援の拡充を**

小山 ようこ（創風）



**問**／結婚支援に関し、「ハートマッチにいがた」の入会登録料助成の実績は。  
**答**／入会登録料の助成実績は、令和5年度は8月末時点で4件となっている。令和3年度は19件、令和4年度は15件の助成実績があった。  
**問**／割引などのサービスが受けられるパスポートや施設の利用券等を、新婚や結婚予定のカップルを対象に発行すべきと考えるがどうか。  
**答**／結婚支援へ有効な取り組みを検討しており、提案のパスポートや施設利用券発行についても、有効性を確認・研究していく。

**マンホールカードの取り組みへの参加を**

**問**／マンホールカードについての市の認識は。  
**答**／下水道に興味・関心を持ってもらうきっかけにするとともに、マンホールの先にある下水道の大切さをより深く理解してもらうことを目的に発行されているものと認識している。  
**問**／当市もマンホールカードの取り組みに参加すべきと考えるがどうか。  
**答**／下水道事業の普及・啓発に資する取り組みを、継続的に推進しているところであり、マンホールカードを発行することは考えてはいる。市民に下水道事業の意義や大切さを広く伝える努力を重ねながら、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全に繋げていく。



**住環境整備の停滞は  
市街地人口流出の要因**

渡邊 隆（久比岐野）



**問**／高田市街地の南北を結ぶ幹線である都市計画道路北城町・東城町線は、狹隘道路が多い住宅地を縦貫することで、高田城址公園周辺の小中高校生の安全な通学路整備に加え、未利用土地の宅地化に繋がることから、投資効果の高い計画路線であると考えているが、必要性を聞く。  
**答**／本路線は南消防署付近と中央橋を通る県道との間、約660mが未着手となっている。南消防署から高田南部地域へ向かう緊急車両の迅速性の向上や、高田城址公園のイベント開催時の円滑な交通確保に寄与し、補助幹線道路として重要な役割を担うものと認識している。しかしながら、未着手区間には既に住宅が多く立地し、移転補償に多額の費用を要することや、住宅地を斜めに分断するルートのため不整形地の発生等、地権者の合意形成が難しいと想定する。整備効果は高いが着手は難しいと考える。

**たにはま公園ドッグランに植栽で木陰を**

**問**／公的施設では県内最大規模であり、多くの愛犬家に親しまれている。これまで、休息するスペースとして植栽による木陰が欲しいとの要望が多く寄せられているが、充実する考えは。  
**答**／同様の声が複数寄せられている。ペットと快適に過ごすための環境整備の必要性を認識し、木陰設置へ向け検討を行っている。



**信頼されるプロポーザル方式とするために**



**問**／市のプロポーザル方式は根本的なルールが定まっておらず、出来レースなど官製談合の隠れ蓑にもなりかねない。令和4年度の金谷地区公民館設計業務やこのたびの通年観光計画のプロポーザルは、ゴールポストを意図的にずらして特定の業者に有利になるよう図ったように見える。発注受注は信頼の上に成り立つ。速やかに市独自のプロポーザル発注指針を策定すべきだ。  
**答**／なるべく速やかに発注指針をつくりたい。  
**問**／プロポーザル発注疑惑で市の信用が棄損されたことが真の問題。真摯に向き合ってほしい。

**地域を元気づける契約方式を**

**問**／除雪や災害応急対策など、地域維持事業を担ってきた建設業者土木業者の減少・小規模化が進み、このままでは地域における最低限の維持管理も困難になる。担い手確保に資する工夫も必要である。公共工事の契約において、地元業者を支える地域維持型契約方式を積極的に取り入れていくべきだと考えるがどうか。  
**答**／地域維持型契約方式の導入可能性を検討する。  
**問**／平成29年を最後に、市は建設業界の声を聞いていないという指摘がある。定期的な対面式の意見交換や要望を聴く場を速やかに復活し、胸襟を開いて話せる環境を作るべきだ。  
**答**／そのようにしたい。



**直江津区のまちづくり  
と観光振興**



**問**／次のとおり「オーシャン・ヒストリーロード」構想を提案する。  
■キーワード：歴史文化、海、夕日  
■コンセプト：直江津の特徴、素材を生かした整理された美しい街をつくる。美味しい食材（地魚・米等）と地酒をとことん味わっていたく。  
■ねらい：国内外の観光客の増加、宿泊観光への誘導、移住定住、市民のさらなる向上心の醸成。  
■位置：うみがたりから安国寺通り（県道直江津停車場線）を経て、直江津駅までの約1km。  
■ロードの姿：魚類のオブジェ展示（67体）。街灯の設置（67基、夕日の色合いで街を照らす）。町家等の改修（昭和の風情を復活させる）。道路色をブルー又はオレンジ色に統一。無電柱化。  
**答**／直江津の魅力を総合的にブランディング化して、市外への訴求力や発信力を高め、観光客増加を目的とした内容と捉え、参考にしたい。

**公平・公正なプロポーザル方式の整備**

**問**／公平・公正・競争性等を担保できないと市民に不信感を与えることになる。評価の在り方や、選定基準・規定等を整備する必要があると考えるがいかがが。  
**答**／基本的な考え方や汎用的な作業手順の整理が必要であると認識を新たに。プロポーザル方式に関する要領等の整備を進める。



**保倉川放水路整備に向けて**

波多野 一夫（みらい）



**問**／第24回関川流域委員会が開催されたが、保倉川放水路整備に関する審議内容はどうであったか。  
**答**／国から、令和5年度内を目標に計画の変更を進めていくことが示された。具体的には、目標流量を毎秒700tから900tに変更するとともに、住民へ平面図や断面図を提示し理解を求めていくとのことであった。委員からは、流域治水の考え方や、放水路の塩水遡上による周辺への影響など、多くの意見が出された。

**問**／国、県、市の動きと、事業着手に向けた市の今後の進め方、地元まちづくり協議会との関係性についてどう考えているか。  
**答**／現在、国土交通省では、保倉川放水路の事業化に向けて、環境調査や施設の概略検討等を進めており、その進捗に応じて、国、県、市が連携を図りながら、地域住民への説明や関係機関との調整を行っている。

市では、地域分断による影響の軽減に向けた道路ネットワークや、地元のコミュニティ施設建設などの検討を始めた。  
また、地域の理解と協力が不可欠であるため、地域の課題解決に向けた「まちづくり協議会の準備会」の皆様と、今後も丁寧な話し合いを重ねながら、事業化に向け、積極的に取り組んでいく。



**地域おこし協力隊  
受入れ後の成果は**



**問**／受け入れた地域や団体は、本来の目的を達成できたのか。最長3年の中で、行政、地域団体のサポートはどうか。また、受入れが人手不足の解消だけになっていないか。任期終了後の定住率はどうか。  
**答**／平成25年度から延べ24人の隊員を受け入れてきた。現在は市内各所で10人が活動している。受入れに関する様々な課題解消のため、募集の前段階から、受入れを希望する地域と任務や育成及び支援体制等を具体的に検討するとともに、退任後の生計基盤の確保にめどを付けること等に意を用いながら取り組みを進めている。

現在活動している隊員は、全員定住の意向を示しており、本制度の目的の実現に向けて進展しつつあると考えている。これまでの退任後の定住率は42・9%で、そのうち起業率は16・7%、就業率は33・3%、就農率は50%となっている。

**各区総合事務所敷地内の環境整備**

**問**／各区総合事務所の敷地内の除草や清掃等の管理体制と、職員の清掃に対する意識はどうか。  
**答**／建物周辺の清掃や草刈りは業者委託であるが、年に数回は職員が終業後に美化活動を実施するなど、良好な環境維持に努めている。引き続き職員においても、日頃から環境美化の意識を持ち、環境の維持に取り組んでいく。





**デジタル社会で上越の未来はどう変わる？**  
ストラットン恵美子(久比岐野)



**問**／地方創生に繋がるメタバース活用の取り組みについて市の見解を聞きたい。  
**答**／メリットとデメリットを整理し、他自治体の有効な取り組みや運営手法等を参考に、調査・研究を行う。



**問**／デジタル地域通貨導入の考えは。  
**答**／事業者や商店街、金融機関等関係者の意見を聞き取りながら研究していく。

**問**／道の駅を活用した当市の観光戦略と、新たな道の駅設置の考えは。  
**答**／うみでらす名立は大規模改修や機能見直しを検討、よしかわ杜氏の郷は敷地内の緑地の有効活用や駅全体のコーディネートを検討、雪のふるさとやすづかは観光対応型の雪室を整備し、スキー場と連携強化している。それぞれの指定管理者や関係者、地域住民と連携し、各施設の特性を活かして市内外の利用者が「食」や「自然」、「体験」を楽しめる場所にしていく。現段階では新たな道の駅設置は考えていない。

**問**／道の駅を活用した当市の観光戦略と、新たな道の駅設置の考えは。  
**答**／うみでらす名立は大規模改修や機能見直しを検討、よしかわ杜氏の郷は敷地内の緑地の有効活用や駅全体のコーディネートを検討、雪のふるさとやすづかは観光対応型の雪室を整備し、スキー場と連携強化している。それぞれの指定管理者や関係者、地域住民と連携し、各施設の特性を活かして市内外の利用者が「食」や「自然」、「体験」を楽しめる場所にしていく。現段階では新たな道の駅設置は考えていない。



**子育てジョイカードの拡充**  
鈴木 めぐみ(政新クラブ)



**問**／事業の対象となる3人以上の子どもを養育する多子世帯の割合は。また、拡充の必要性は。  
**答**／対象は子育て世帯の14%。協賛企業の協力で実施しているため、創設当初の趣旨に沿って継続していくことが適当で、対象世帯を拡充する考えはない。



**小中学校の熱中症対策は**

**問**／令和5年度の猛暑下での児童の熱中症の状況及び対応は。  
**答**／救急搬送を要した事案が小学校で1件、中学校で3件発生し、搬送先で処置を受けた。また、熱中症警戒アラートが発令された場合、活動前や活動中の暑さ指数をこまめに確認し、暑さ指数が31を超えた場合は、活動内容を変更する措置を講じている。

**問**／普通教室以外の教室へのエアコンの設置状況はどうか。設置していない教室へ早期に設置すべきでは。  
**答**／全ての学校の図書室とコンピュータ室には設置済みである。未設置教室へのエアコン設置については、必要性を強く認識しており、今後、計画的に設置していく。



**道路整備事業 人口減少にどう対応？**  
宮崎 朋子(創風)



**問**／道路パトロールにおける事業者の人手不足にどう対応しているか。  
**答**／従来の取り組みに加え、郵便配達職員から道路の不具合などの発見時に通報をいただく仕組みや、市民からのLINEによる通報(月に10件程)で迅速な対応を心がけている。

**問**／人口減少で交通量が減少し、今後の道路整備評価項目に影響が出るのではないか。また、実施に至らず年数が経過している地域要望を今以上に丁寧に取り、方策を提案することで、次代を見据えた道路計画策定を望むがどうか。  
**答**／現状や課題等を的確に把握し、次期計画における整備基本方針や評価基準等の見直しを検討している。地域要望については、地元関係者へ現時点での地域課題を改めて確認し、整備範囲・規模の見直しや、代替案も含め実現可能な整備方法を示すなど、対応していく。

**ホワイトアウトで孤立する集落への対応は？**  
**問**／市へ現状把握と方策の提案を望む。また、除雪計画では、この視点と情報の共有を望むがどうか。  
**答**／地吹雪などの恐れがあるのは、市全体で150路線、約150kmあることを把握している。今後も市民への注意喚起と迅速な除雪作業で道路交通の確保に努めていく。

**問**／コミュニティプラザは地域自治の象徴であり、地域活動の拠点施設である。13区には設置されているが、旧上越市域15区にはない。公民館等を活用して設置すべきではないか。  
**答**／15区においては、市民活動拠点施設は充足していると考えている。公民館等を位置付けていくという考え方については地域自治推進プロジェクトの中で検討していく。



**コミュニティプラザ 全地域自治区に設置を**  
栗田 英明(政新クラブ)



**問**／コミュニティプラザは地域自治の象徴であり、地域活動の拠点施設である。13区には設置されているが、旧上越市域15区にはない。公民館等を活用して設置すべきではないか。  
**答**／15区においては、市民活動拠点施設は充足していると考えている。公民館等を位置付けていくという考え方については地域自治推進プロジェクトの中で検討していく。

**地域自治の強化に向けて**

**問**／地域自治の担い手である住民の意識醸成、町内会や地域活動団体との連携、支援を強化する必要があるのではないか。  
**答**／地域独自の予算事業を通じて、意識醸成や信頼関係の構築、強化を図っていききたい。

**問**／その地域独自の予算は地域自治区の事務所や行政が主体になり、地域と話し合っって企画実行する仕組みにすべきではないか。  
**答**／現在は、地域の団体等が総合事務所等と話し合いながら事業を進める仕組みとなっている。

**問**／地域協議会は本来、地域自治強化のために地域と行政の協働を推進する役割であることを再認識の上、令和6年の改選に当たってほしい。  
**答**／法では、諮問や自主的審議を通じ市に意見を述べることができると規定されている。改選に向けて理解が深まるよう工夫、周知していく。

**問**／直江津屋台会館を積極的に活用すべきでは。  
**答**／直江津屋台会館活用のサウンディング調査は、令和4年度に策定予定であった通年観光プロジェクトにおける直江津エリアの回遊の仕組みづくりとあわせ、必要に応じて実施すべきものと考えていた。しかし、通年観光プロジェクトは、地域住民と将来像を共有し、時間をかけて丁寧な議論を重ねて検討していくこととした。このため、今後、通年観光プロジェクトにおける検討の中で、サウンディング調査の必要性も含め直江津屋台会館の活用について、改めて検討していく。



**地域の諸課題について 市長に問う**  
木南 和也(久比岐野)



**問**／直江津屋台会館を積極的に活用すべきでは。  
**答**／直江津屋台会館活用のサウンディング調査は、令和4年度に策定予定であった通年観光プロジェクトにおける直江津エリアの回遊の仕組みづくりとあわせ、必要に応じて実施すべきものと考えていた。しかし、通年観光プロジェクトは、地域住民と将来像を共有し、時間をかけて丁寧な議論を重ねて検討していくこととした。このため、今後、通年観光プロジェクトにおける検討の中で、サウンディング調査の必要性も含め直江津屋台会館の活用について、改めて検討していく。

**問**／シーサイドパーク名立の遊具の現状は。  
**答**／ローラーライダーやアスレチック遊具などで腐食等が確認されたため、令和5年7月22日から当面の間使用を禁止している。これらの遊具の修繕や更新には多額の経費を要することが判明したこと、慎重な検討が必要だと考えている。もとより、同施設は、うみでらす名立に近接し、市内外から多くの利用者が訪れる施設であるとともに、地元の名立中学校の生徒が花の苗植えや草刈り等の整備活動を実施するなど、地域住民にとっても思い入れが強い施設であると考えている。

**問**／今後の修繕方法等の検討に当たっては、地域住民の声も聞きながら適切に対応していく。  
**答**／今後の修繕方法等の検討に当たっては、地域住民の声も聞きながら適切に対応していく。



**長期にわたる 未着手路線の整備促進**  
飯塚 義隆(久比岐野)



**問**／市道整備は、路線ごとに評価し、優先順位を定めた上で整備が進められる。評価基準に満たない路線は、いつまでも整備されない。町内会等から長年にわたり整備要望が繰り返されている状況を踏まえ、整備評価基準を見直すべきではないか。  
**答**／整備評価基準は、次期計画においても全国的な方針や地域課題に基づき、見直しの検討を進めている。また、長期にわたる未着手路線については、次期計画策定に際して、整備の必要性を再検証し、あわせて実現可能な方法について検討する。



**雨水管理総合計画の推進**

**問**／雨水管理計画は、雨水幹線や排水ポンプの整備方針、整備地区、優先度などを記載しているが、設置年度が示されていない。この計画に基づいて、具体的な整備計画を示すべきではないか。  
**答**／雨水幹線整備は、住宅密集地での施工、ガス・水道管等の地下埋設物の移設、交通形態の構築、国の交付金の将来見込み等、不明確な要素がある。また、現地での測量や設計が必要となることから、長期の整備計画を作る予定はないが、短期間での計画は検討してみる。

**問**／雨水管理計画は、雨水幹線や排水ポンプの整備方針、整備地区、優先度などを記載しているが、設置年度が示されていない。この計画に基づいて、具体的な整備計画を示すべきではないか。  
**答**／雨水幹線整備は、住宅密集地での施工、ガス・水道管等の地下埋設物の移設、交通形態の構築、国の交付金の将来見込み等、不明確な要素がある。また、現地での測量や設計が必要となることから、長期の整備計画を作る予定はないが、短期間での計画は検討してみる。



外国人家族との  
共生のまちづくり

大島 洋一（久比岐野）



問／近年増加している、地域の企業に就労する外国人労働者の家族との共生について、生活環境の整備と災害発生時の対応は。

答／上越国際交流協会と連携し、生活相談や日本語教室の開催等の支援を行っている。

また、災害への備えとして多言語翻訳アプリで防災ガイドブック・避難所マップ・洪水ハザードマップ等の情報発信を行うほか、災害時の安否確認には、被災者生活再建支援システムを活用する。さらに指定避難所の対応では、上越市避難所開設・運営マニュアルに必要な配慮ポイントを定め、外国人市民の適切な行動を促す。

問／外国人の子どもたちの教育環境や日本語支援の現状、日本語学習支援団体への財政支援は。

答／令和5年度から新たに「日本語支援事業連絡会」を立ち上げ、日本語の習得に困難を抱える児童生徒の具体的な困り感を把握し、最大週3回支援している。また、高校進学を希望する中学生には、進路実現を支援する日本語指導を行う。さらに、日本語支援団体への財政支援を行う。

頸城油田の産業遺構の発信を

問／1879年に当市で日本初の石油パイプラインが敷設され、令和11年に150周年を迎える。近代産業遺構を整備・発信すべきでは。

答／今後も資料の収集や調査研究を進める。



本当に実効性のある  
原発災害避難計画を

橋爪 法一（日本共産党議員団）



問／市長は「災害現場での市民の避難行動が円滑かつ安全に行われることが担保される」、「市民の確実な避難が一層進められる計画になった」と今回の避難計画改定を評価しているが、その根拠は何か。

答／このたびの改定で、原子力災害に対する防護措置と、災害時に取り得る市民の一連の避難行動に実効性が備わったとの認識から、それらを改定の成果として述べた。複合災害時における防護措置や避難対策が未整理など課題はある。

問／まだ改善していかなければならないという方向性を示されたが、それならば、安全が担保されたとか、確実な避難が前進したという評価はおかしい。安心して避難できる、文字どおり実効性のあるものにはなっていない。県の検証の避難委員会報告書では、安全な避難方法等に関する論点を整理として、12項目450の論点があげられた。このうちどれくらい論点が解決済みか。

答／その中で、既に県が対応したものは185、対応中のものが53と承知している。



中川市政の限界、  
出処進退をお勧めする

宮越 馨（無所属）



問／まちづくりの基本戦略である市長自身の発展ビジョンは。

答／暮らしやすく希望あふれるまちを将来都市像とする第7次総合計画に沿って、変化があっても持続可能な夢や希望をもって輝く人をつくる。また、通年観光に取り組み、季節観光の姿を、年間を通して来訪者が来る姿へ転換させる。

問／「移動市長室」や「市民と市長との対話集会」の実態は陳情会で対話にもなっていない。市長の地位利用で市民ニーズを分断している！

答／個別面談方式と集会方式で実施し、参加者の要望や提案を聞いている。そうした意見を参考に事務事業の改善を図った事例がある。

問／金谷地区大貫平山団地及び和田地区西田中企業団地区域の公共下水道事業の見直し除外は理不尽である！

答／対象の面積は54ヘクタールで全体の6%、事業費は全体の1%である。市民から意見があれば都市計画審議会へ報告する。

問／市内私立高校への発言をはじめ失言が数々あり上越市長の歴史上あり得ない。市民へのリスクペクトが欠けている。リーダーシップなく指導者として失格。直ちに出处進退を言進言する！

答／生徒の皆様、保護者の皆様、教職員の皆様、卒業生の皆様などに大変不快な思いをさせ、申し訳ない。改めて心からお詫びする。



労災病院閉院に関する  
不安の解消に向けて

安田 佳世（久比岐野）



問／上越地域医療構想調整会議の議論の受け止めと上越地域が取り組むべき課題は何か。

答／短期的には新潟労災病院の機能再編に伴い市民の医療サービスを低下させないこと、中長期的には市民が必要な医療を受けることができ、地域内で完結できる体制を整えることが肝要。これらの実現により、地域に不足する集中治療室などのより高度な医療への対応が可能になり、併せて若手の医療スタッフが魅力を感じることで人材の安定確保にも繋がる。

問／新潟労災病院の閉院に関する市民の不安解消のために、市としてどう取り組むか。

答／引き続き、県及び上越地域医療構想調整会議と連携し、上越地域における医療再編の議論が地域全体の医療の質の向上を目指すものであることを説明するなど、市民の理解を得られるように努めていく。また、医療機関間の機能移転、連携体制の構築等が円滑に図られるようしっかりと議論に参画していく。

地域協議会の在り方は

問／令和6年4月の改選に向けた取組状況は。

答／改選に向けては、現行の条例に基づく仕組みや役割を維持する。また、地域の多様な意見の反映方法、出席しやすい環境づくり、会議運営の充実に向けた研修などを検討している。



学校給食費を無償に

平良木 哲也（日本共産党議員団）



問／学校給食費は妙高市では無償である。当市でも無償にすべきではないか。

答／学校給食法では食料費は保護者負担となっているほか、経済的に就学困難な児童生徒には全額補助しており、全世帯無償は考えていない。

問／子どもに関することは区別をせずに普遍的に補助を行うことが必要ではないか。この基本的な考え方についてはどう思うか。

答／義務教育は無償であり、その延長上に給食がどうかと言われると課題があると思うが、普遍的な考え方は当然だと思う。子育てプロジェクトが中心になり、そのことも焦点に加えながら今後の政策についても検討している。

離婚後の養育費確保で市の立替支援を

問／離婚後の養育費確保について、市として立て替える制度を含めた支援をすべきではないか。

答／養育費の確保に向けた取り組みは考えている。内容としては、養育費の取り決めのための公正書作成費用、弁護士への相談費用、保証会社との契約締結費用の補助などであり、具体的なことについてはこれから検討する。

問／保証会社は、高リスクの場合は保証しないという事例がある。市で立て替えられないか。

答／いろいろな連携の中で制度が充実していくように運動していきたい。

次の定例会は

令和5年 12月1日(金)～

総括質疑	12月1日(金)
委員会	12月4日(月)～7日(木)
一般質問	12月8日(金)～13日(水)
採決	12月15日(金)

※日程が変更となる場合は、ホームページ等でお知らせします。

編集後記

今定例会には、議会学習の一環として、たくさんの小中学生が傍聴に訪れてくれました。議場が心地よい緊張感に包まれ、爽やかな風が吹いたようでした。嬉しさと同時に、未来を担う子どもたちに対して、恥ずかしくない議会でありたいと思いを新たにしました。

広報広聴委員会 高橋浩輔

次号は、令和6年1月25日発行予定です。



ホームページ



本会 議  
動画配信



委員会  
動画配信



Facebook



申込  
不要

市議会へ皆さんの声を聴かせてください

### ご意見を聴く会

議員が地域へ出向き、  
ご意見をお聴きします

11/9 (木) 18:30-20:00  
板倉コミュニティプラザ

11/10 (金) 18:30-20:00  
安塚コミュニティプラザ

### 議会報告会@YouTube

9月定例会の審議内容を  
お伝えします

11/2 (木) 10:00 公開



上越市議会  
YouTube チャンネル

### 議員と気軽にトーク @こどもセンター

こどもセンターを利用している  
子育て世代の皆さんのお話  
をお聴きします。

11/12 (日) 10:00-11:30

オーレンプラザ こどもセンター

子育て世代の皆さん！  
議員とお話ししませんか？

お子さん  
連れて  
おいでくだ  
さい！

5分だけ  
でも  
OK!

